

友好コスモス交流

コスモスの種の預託式が行われました。



鳴門市長にコスモスの種を渡す笹木代表

今夏、姉妹都市であるリューネブルク市に訪問する第23回鳴門市姉妹都市親善使節団団長の泉鳴門市長に、鳴門市花街道・地域づくりネットワークの笹木代表より、友好コスモス交流の際、手渡してもらうコスモスの種の預託式が令和元年8月3日に鳴門市役所3階応接室で行われました。

今年度は、ドイツ兵慰霊碑建立100周年目の年にあたります。お互いの国のコスモスの種を交換する友好コスモス交流は、こうした歴史を引き継いで行く大切な出来事となっています。

2019 鳴門市ハマボウ・ヒマワリ祭りが開催

鳴門市花街道・地域づくりネットワークが実施する2019鳴門市ハマボウ・ヒマワリ祭りが7月1日（月）～28日（日）にかけて開催されました。

期間中は、ハマボウの交流接待所として木津神地区のふれあい運動場、ヒマワリの交流接待所として鳴門ウチノ海総合公園お花畑が開設されました。訪れた人たちはハマボウやヒマワリの花を観賞しながら、接待所の心温まるおもてなしに暑い夏のひとときを満喫していました。



木津神地区ふれあい運動場の交流接待所



鳴門ウチノ海総合公園お花畑

第17回 四国地域福祉実践セミナーが徳島市で開催



四国大学R館でのシンポジウム

令和元年7月27日(土)、28日(日)の2日間にわたり、徳島市の四国大学において第17回四国地域福祉実践セミナーin 徳島市が開催されました。

会場には、四国各地から地域福祉に関わっている、多くのボランティア、NPO 関係者、社会福祉協議会や民生・児童委員の人たち総勢600名近くの人たちが集まりました

開会行事に引き続き、開催されたシンポジウムでは「地域共生社会を目指した新たな支え合い」というテーマのもと、3人のシンポジストから、地域における福祉活動に取り組むそれぞれの組織や団体の活動の様子が、熱い想いととも生きてきた情報として報告されました。

1番目に徳島市内にある社会福祉法人あさがお福祉会の保岡伸聡氏より、「社会福祉法人が地域福祉実践を行う意義について」ということで、1事業所1地域貢献もしくは、1拠点1地域貢献という考え方のもと、あさがお福祉会が取り組んでいる、地域と防災協力の具体的取り組みや地域の生活向上支援として取り組んでいるコミュニティカフェや弁当や惣菜を提供するユニバーサルカフェつだまちキッチンの取り組みの他、地域の学び支援や繋がり支援として取り組んでいる事業や行事などが紹介されました。

コーディネーターの東北福祉大学大学院教授の大橋謙策氏からは、改正された社会福祉法で社会福祉法人による「地域における公益的な取組」の実施が法人の責務として位置づけられていることが話され、現在、ひとつの社会福祉法人として取り組んでいることを大切にしながらも、今後は、それぞれ専門的ノウハウを持つ社会福祉法人同士の横の連携や地域とのさらなる連携も必要ではないかとのアドバイスもありました。

2番目の高知県高知市社会福祉協議会の今村文哉氏からは、『地「参」地「笑」福祉でまちづくり』というテーマで、現在、高知市社会福祉協議会で展開している既存の集いの場での新たな課題解決の仕組みづくりや、いきいき百歳体操など広く普及している事業からでも始められる地域の支え合いの仕組みづくりなどが報告されました。コーディネーターの大橋氏からは、百歳体操の連れ出しを名目に行っている家庭訪問の事例を取り上げ、このような直に話ができる家庭訪問などの工夫をどんどん行うことがこれからの地域福祉のカギになるとのアドバイスもありました。

3番目の香川県善通寺市与北地区民生児童委員協議会堀家伸介氏からは、「地域の課題解決のためのネットワークと民生委員・児童委員の役割について」ということで、与北地区における地域住民、福祉協力員、民生委員の連携の仕組みが報告され、民生委員ごとに4~8名の福祉協力員が配置された中で実施されている情報交換会、見守り活動、ふれあい安否確認型給食サービスなどの連携事例などが報告されたほか、福祉施設との連携や、小学校、幼稚園、地区社協との連携事例も報告されました。

また、平成27年から香川県内で始まった「香川おもいやりネットワーク事業」に参加するなかで、現在、地区民児協においてもこの事業が徐々に浸透してきているとのことでした。成果として民生委員の視点から、避難行動要支援者名簿と災害時要支援者登録事業のすり合わせや地域福祉計画策定時に地域の声の反映につながったことや、行政に対して総合的な窓口の設置要望やさまざまな提言活動へと発展してきているとの報告がありました。そして、シンポジウムの後、参加者は、4つの分科会にわかれ、実践報告や意見交換が行われ、1日目を終えました。

2日目には、それぞれの分科会報告が行われ、最後にシンポジウムのコーディネーターをつとめられた大橋謙策氏による総括講演の後、恒例の俳句表彰で2日間にわたる実践セミナーが閉じられました。

夏の暑さの続く徳島から、これからの地域福祉のありかたを考える熱気溢れる非常に有意義な集いとなりました。

阿波おどり「すだち連」へのおもい

佐藤 克己



大道銀天街で踊るすだち連

「すだち連」はひとりの女性のおもい「踊りたい」を受け、鳴門市身体障害者連合会、鳴門市ボランティア連絡協議会と共に産声^{うぶこゑ}をあげたと誰かれとなく伝え聞かされています。時代は、昭和、平成、令和と流れ、設立当時を知る人は数えるほどとなり、疎遠、高齢化、他界された方もおられるかと思えます。そんな長い歩みの中でも、立ち上げに協力いただいた、ろう学校の生徒たち、その保護者のみなさまの支援活動は特筆ものかも知れません。このほか、お世話をいただいた方々をあげれば書ききれないほどの数にのほります。

初代岡連長（てっちゃん）、そして二代目^{えびす}戎連長（しんちゃん）へとバトンは引き継がれ、平成3年の世界ろう者会議〈日本武道館〉の出演を機に聴覚障がい者と健聴者の構成になり、現在、踊り好き仲間が50名を数えるまでになりました。

東京オリンピック、パラリンピックが開催される来夏は、「すだち連」が誕生してちょうど節目の40年目を迎えます。

障がい者もそうでない人も、ともに一緒に踊るスタイルで、「元気」を発信してきた「すだち連」ですが、これからは「魅せる」連への進化も目指して団員一堂頑張っています。

この紙面を見ていただいたみなさんには、これからも「すだち連」を末永く応援し、愛していただければこの上なくうれしく思います。

助成金情報

助成団体 公益財団法人トヨタ財団

助成事業名	国内助成プログラム しらべる助成
助成対象	運営の中心となる組織の法人格の有無・種類は問わない
助成金額	上限100万円
助成内容等	地域課題の発展やその解決のために必要な調査、戦略立案、パイロット事業などを目的としたプロジェクトへの助成
募集期間〈締切〉	2019/9/30 午後3時

助成事業名	国内助成プログラム そだてる助成
助成対象	運営の中心となる組織の法人格の有無・種類は問わない
助成金額	上限なし
助成内容等	地域課題解決に向けた事業の立ち上げ、実施、拡大ならびにそうした事業の担い手となる人材を育てることを目的としたプロジェクトへの助成
募集期間〈締切〉	2019/9/30 午後3時

リンク先 <http://www.toyotafound.or.jp/community/2019/> 問い合わせ先 03-3342-6911

公益財団法人トヨタ財団 国内助成プログラム担当

「第九の里コンサート」の道しるべ



板東ゆたか保育園、板東みやま保育園
の児童による合唱

板東地区自治振興会文化部会
堀江地区自治振興会文化部会

令和元年8月3日(土)、鳴門市ドイツ館において、「第九の里コンサート」が板東地区自治振興会文化部会と堀江地区文化部会の主催、鳴門市共催により開催されました。

今回で第8回目を迎えた第九の里コンサートですが、その源流となっているのは、毎年、夏の終戦記念にあわせて、戦争のない世界の平和に向けてのメッセージを地域から発信しようとする趣旨のピースコンサートという催しが長く、鳴門市ドイツ館で開催されてきました。

私達は、そのことを継承しながらも、かつてこの地にありました板東俘虜収容所において、世界の歴史の中でも奇跡ともいわれていますドイツ兵俘虜と地元民の心温まる交流の中で、アジアで初めてベートベンの第九が演奏されたという史実を大切に、ピースコンサートのテーマであった平和とともに、友愛のメッセージを地域から発信し、後世に伝えていきたいと考えてきました。

そうしたことから、平成24年度からは「第九の里コンサート」と名称も一新し、板東地区自治振興会文化部会と堀江地区自治振興会文化部会との協働事業として、地域住民手づくりによるコンサートとして開催しています。いまでは「第九の里コンサート」と銘打ったこのイベントもしっかりと夏の定番行事として認知されるようになってきました。

コンサート本番では、大麻地区内の保育園、幼稚園、小学校、中学校の子どもたちが、この日のために、春から夏にかけて一生懸命練習してきたその成果を披露してくれました。子ども達にとっての晴れ舞台を保護者の皆さんもあたたかく見守っていました。

その他、一般団体の皆さまも、日頃の成果をご披露してくれました。また、今年は特別に箏と尺八の邦楽演奏もあり、来場した皆さんは箏と尺八の奏でる邦楽の世界を楽しんでいました。

来年度は、ベートベン生誕250周年という記念すべき年となります。第九の里コンサートもこれらのことも考え、次の時代へつなぐ催しとして大事にしていきたいと考えています。



特別出演 箏と尺八の調べ